

この辺には更にオタカラコウ、オウバシヨリマ、タマガワホト、ギス、ヒトツバヨモギ、ウラジロヨウラク、ミヤマシグレ、ミヤマニガイチゴ、クサアジサイ、コマアジサイ、ウバミソウも見られた。鞍部から頂にかけては急斜面で手と足をつかつて登らねばならない。時間も大分過ぎたので大急ぎで登る。頂上は1m程の灌木林で視界が良く南は遠く白山の姿も見られる。頂上にある植物は次の如くである。オ、コメツツジ、ホツツジ、マルバマンサク、ナナカマド、アカモイワナシ、コナラ、シシガシラ、ノリウツギ、ムシカリ、クロノヨゴ、サイゴクミツバツツジ、ヤマウルシ、ヒカゲノカズラ、ハナヒリノキ、シメクナ、ミヤマツツジ、タムシバ、クロモジ、ミヤマシグレ、ウラジロヨウラク、チゴユリ、コバノトネリコ、ハイシキミ、コハウチワカエデ、タガネソウ、エゾユズリハ、ムシカリ、ノアザミ、ス、キ、シバ、スノキ、コマユミ、リョウブ、コナスビ、チゴザサ、ミズナラ、ブナ。

頂上についたのは午後3時半、雨の多い内に山をおりなければならぬので、手当り次第に採集して走る様にして下山。麓の山口部落に着いた時はすっかり日が暮れて居た。

大野郡石碓白方面植物採集記

夏期植物採集会を昭和29年7月26日から28日迄、大野郡石碓白村方面で行ったので其の概況を報告する。

〔参加者〕 堀会長以下 / 2名

〔日程〕 26日午前7時53分福井発(電車) 9時35分大野発(バス) / 3時石碓白着。小憩後直に峠方面採集。 27日 芦倉山方面採集。

28日、石碓白—小谷堂間採集。 帰途。

〔峠方面〕 部落から峠への道は、先ず山間の段々畑の間を通る。このあたりは、コウガイゼキショウ、ヒロハコウガイゼキショウ、アイバシヨウ、シロツメクサ、アカツメクサ、ホンダホタルアグロ、ネジバナコオニユリ、キンミズヒキ、オダマキ、クサイ、ナツズタ、ユウガギク、ネコハギ、ツタウルシ、イソノキ、タケニグサ、バライチゴ、エゾシオガマ、ハルガヤ、オカトラノオ、ウド、オ、ミゾホ、ズキ、ツリバナ、アケボノソウ等が見られる。このうちハルガヤは明治初年に輸入した牧草の逸出したものと云われるが、県下ではこの方面のみ分布するものと云われる。やがて両側の畑がつき、道は森林中へ入る。この辺の樹木は、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、ヤマウコギ、ハリギリ、オバルハソノキ、ヤマハソノキ、マンサク、キブシ、カマズミ、ミヤマカマズミ、サワフタギ、シ

ナノキ、トチノキ、ホノノキ、ミズキ、トチ、ハナノキ等があり、その下草には、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリ、アズマナルコギ、サルメ、マンネンズギ、サワオトギリ、ヒメガントクビソウ、フタリシズカ、サワアジサイ、ノリウツギ、オダマキ、ヤグルマンウ、ヤマツハジ等が現れ、蔓植物としては、キクバドコロ、マツブサ、ヤマユヅ、サンカクズル等が見られる。次第に高度を増につれ、ブナ、シラカバ、ミズナラ、クマノミズキ、ハクウンボク、アラケガマズミ、ナハカマド、等の樹木とサルメ、ウメバチソウ、オハシゴソウ、アカモ、マルバフェイテゴ、アキノダムラソウ、オバシヨリマ等の草本や灌木が現われる。この時の標高は960mで峠附近の植相はブナ帯といえる。

〔芦倉方面〕 最初は太田町の採集を試みる予定であったが、登山困難との地方人の話により、芦倉山（標高716.7m）に変更した。この山は中腹には林道が開通しているので容易に登る事が出来たが、それ以上は殆んど道らしい道はなく、藪をかき分けての登山で加うるに距離が長いので、参加者一同は衣服をぐぐり疲労その極に達し、午後9時過ぎに漸く暗へたどり着いた。しかし藪は十数にあり思い出の深い行程であった。山麓附近の植相は次の如である。

トチノキ3、ミズナラ2、ミズキ2、タニウツギ2、タケノコササ、ツノハシバミノミズキ、ブナ、ウリハダカエデ、シロモジ、クロモジ、ノリウツギ、クヌギ、ハリギリ、コシアブラ、オバルハンノキ、ヤマハンノキ、イタヤカエデ、ヤマヨモギ、バイカツハジ、アイバソウ、タマアジサイ、シロモジ、ムシカサ、オシモツケ、コウガイボ、キシヨウ、ホウチヤクソウ、トリアシシヨウマ、アカシヨウマ、クマイテゴ、イワタバコ、ツリウネソウ、ヤマジノホトトギス、アカシデ、マユミナ、シナノキ、オハバノトンボソウ、ハリエンジュ、アブラガヤ、オオマツヨイグサ、オハシゴソウ、ヤマツハジ、カメバヒキオコシ、シラカバ、ミヤマシキミ、林道のつきる辺からブナ帯になり、ブナ5、ハウチワカエデ2、エゾユズリハ、ミヤマシグレ、ウラジロヨウラク、ウスギヨウラク、コヨウラクツハジ、ミネカエデ、コアジサイ、リョウブ、ミヤマシキミ、クロズル、ムラサキヤシオツハジ、ホツハジ、ヤマソデツ、ハイイヌガヤ、ツバナオモト、マイズルソウ、ツルツゲ、ツルアリドウシ、マンネンズギ、ソウ、ムラサキヤシオツハジ、オオバユキザサ、ヤシヤシ、クロソヨゴ、オコメツハジ、ナハカマド、等が見られる。

このブナ帯を過ぎた稜線上にかなり広範囲のアオモリトヤマツ帯があり、こゝ

には、アオモリトドマツ5 シメクナゲ3 クロベ2 ヒメコマツ1 ナハカマ
ド1 イチイ1 ハイマツ1 ハクサンオミナエシ+ ウラジロヨウラク+が見
られた。クロベは本県では越前国境の山地にのみ見られるもので、この辺まで分
布することは注目すべきと思う。これより先は樹木は低く所謂高山灌木帯の様相
を示す。こゝにあるものは、

ミネカエデ4 シラガバ2 タカカンバ2 ウラジロカンバ1 ヒメハナヒリ
ノキ1 ミヤマミガイチゴ1 オハコメツハジ1 タケシマラン+ オハバタケ
シマラン+ キソチドリ+ など、これより先は頂上まで次の如きものがある。

ササ5 オハコメツハジ3 ミヤマホツハジ3 クロスル3 アカミノイヌツ
ゲ3 シメクナゲ1 コバイケイソウ1 ゴゼンタチバナ1 ササユリ1 マ
イズルソウ1 タケカンバ1 ヤマハコ+ ハクサンタイゲキ+ ヒゲノガ
リヌス+ 歸りは初河山との間の初河谷を下ったが、悪路と帰途を急いだため充
分の調査が出来なかつた。この谷で採集したものは次の如くである。

マグルマソウ、オハコウモリ、オハバショリマ、エンレイソウ、ハリアキ
タイモンヅソウ、ヤマソテツ、タマカワホトドギス、カメバヒオコシ、ウチワ
タイモンヅ、クロクモソウ、オハバギボウシ、カラマツソウ、ヒトツバヨモギ、
サラシナシヨウマ、クロバナヒキオコシ、クガイソウ、オニシモツケ、マルバノ
リクラアザミ、クサニワトコ、ゼンテイカ、シモツケソウ、ナツトウタイ、ホツ
コクネコノメソウ、ナルコユリ、ミヤマシタ、オハバギボシ、ヒメミシマブシ、
イブキゼリ、コヨウラクツハジ、モミジカラマツ、トリカブト。

〔小谷堂方面〕 最終日はバス発車迄の約2時間をバス路にぞって下り小
谷堂まで採集した。こゝでの採集品は次の如くである。コヌカクサ、ムラサキタ
デ、ホソバタデ、キツネガタ、クルマバナ、オウレンシタ、キヌナギ、ミノボ
ロスダ、オニユリ(毛の多いもの)、オハマツヨイクサ、フサザクラ、カツラ、
サワグルミ、ホソバシタ、カラクサイヌワラビ、ハルニレ、トチノキ、ホ
ノキ、クサボタン、コシノネズミガタ、ヨグソミネバリ、サワシバ、アケボノソ
ウ、オトコヨウゾメ、シナノキ、ヤマツハジ、サツキ。

サツキは石徹白川の岩壁上にあり、本県ではこの地方にのみ自生しているよう
である。